

リーディングDXスクール事業【実践事例】

京都市立唐橋小学校（京都府）

【取組内容①】「個別最適な学びと協働的な学びの一体的な充実」

～調べ学習から発表までteamsや学習支援ソフトを用いて主体的で深い学びにつなげる～

- teamsの投稿（チャット機能）を使って、リアルタイムで児童の気付きや疑問を共有し、テレビ画面に映して常にチャットの確認ができるようにした。
- 学習支援ソフトでは、成果物をクラウドで共有した。

3年 算数科 単元名「三角形」 場所「学校図書館」
めあて「みのまわりから、円や球、二等辺三角形や正三角形の形を見つけ分けよう。」

(teamsのチャット機能を活用した取組実践)

3 3年2組09 唐橋小 23/12/1 14:21
球と円の違いが分からないのでかなり難しい

3 3年2組22 唐橋小 23/12/1 14:23
実際に見ないといけないということ

返信

宮 3年2組22 唐橋小 23/12/1 14:21
番号9番のところに正三角形が2つある

3 3年2組09 唐橋小 23/12/1 14:22
ありがとうございます😊

3 3年2組01 唐橋小 23/12/1 14:23
すごい-----



<成果>

- ・チャット機能を使うことで、活動中での気付きや困りが教師もすぐに気付いて動くことができました。
- ・提出箱を共有することで、どの子も友達の考えを見ることができ、そこで気付いたことがあれば、質問をしに行って解決することができました。

(学習支援ソフトを活用した取組実践)

本や一人一台端末を使って、図形を見つけ分ける学習。気付いたことはチャットを使って伝え、図形の分類はクラウドで共有した。